

令和5年度 尾張旭サッカー協会 審判規定

<審判の方針>

- ① 競技規則は2022/23年の日本サッカー協会の競技規則に準ずる
- ② 日本サッカー協会並びに愛知県サッカー協会の公認審判員を各チーム5名以上確保する。審判員の審判証（2023年写真付き）のコピーを、5月の市民大会開始までに提出する。以上のことが困難なチームは代表者が協会に申し出る。
- ③ 審判は市民大会・市長杯は4名、リーグ戦は3名、小学生サッカーは2名で行う。
- ④ 次の審判は有資格者が行う。リーグ戦・市長杯の主審と小学生サッカーの2名と市民大会の4名。キックオフ30分前までに、運営チームもしくは協会役員に集合した旨を伝える。
- ⑤ 審判技量の低い審判員は審判部長指定の試合の審判を行い、審判技量の向上に努める。
- ⑥ 審判のキャンセルは原則として認めない。

<協会が関わる試合の確認事項>

- ① キックオフ30分前にメンバー表を運営責任チームに提出する。
- ② 7名で試合成立
 - ・ 人数不足の場合、相手チームの同意があれば練習試合とすることも可。審判は割当チームが行う。記録は0-5。
 - ・ 試合当日の試合キャンセルは、対戦チームに3000円、協会に2000円の罰金を科す。記録は0-5。
- ③ レッドカードは次の1試合出場停止。イエローカードは累積3枚で次の1試合出場停止。
- ④ 服装
 - ・ ユニホームの色については、審判と区別しやすいよう、次のようにする。

		シャツ	パンツ	ソックス
フィールド	黒	×	×	×
	紺	×	○	○
キーパー	黒	×	○	○
	紺	×	○	○

- ・ インナー等について

インナー	チームで統一していれば何色でもよい 不都合があるときは話し合いで決める	着ている人、着ていない人がいてもよい
タイツ	黒 か パンツと同色 (チームで統一する)	はいている人、はいていない人がいてもよい。
スパッツ	パンツと同色に限る	はいている人、はいていない人がいてもよい。

- ・ 装飾品、防寒具などは外すこと。
(ピアス、指輪、タオル、ミサンガ、ネックウォーマー)
- ・ ヘアーバンドは黒に限る。髪をとめるゴムなら何色でもよい。
- ・ 眼鏡はスポーツ用眼鏡とし、固定する。
- ・ キーパーの帽子着用は認める。
- ・ 腰番号の有無はチームで統一する。ある場合は、背番号と一致すること。

⑤ 準備は第1試合のチームが行う。

⑥ 片付けは最終試合のチームが行う。

- ・ アップで使ったところのグラウンド整備も行う。

⑦ チームや審判のことで報告することがあれば、運営責任チームに報告し、運営責任チームの責任で報告書に記入する。そして、中島にも連絡する。